

会議録（揭示用）

件名	第6回子どもの未来応援条例（仮称）の制定に関する検討委員会	作成課	こども未来局 こども福祉課
日時	令和4年 8月23日（火） 10時00分～11時30分		
場所	東別館1101会議室		
出席者	子どもの未来応援条例（仮称）の制定に関する検討委員会委員10人		
市出席者	こども未来局次長、こども福祉課長		
会次第	<p>○協議</p> <p>(1)鹿児島市子どもの未来応援条例（仮称）パブリックコメントの実施について</p>		
主な内容等	<p>(○委員 ●事務局)</p> <p>(1) 鹿児島市子どもの未来応援条例（仮称）パブリックコメントの実施について</p> <p>○条例名についての事務局の考えは。</p> <p>●事務局としては、現在の仮称「子どもの未来応援条例」も適切な名称のひとつであると考えている。先日、子ども・子育て会議の中で「未来」という文言に関して「『現在』は子どもの権利を守る取組を行わないのか」という意見もあった。他市では「子ども条例」や「子どもの権利条例」という名称を付けているところもある。</p> <p>○名称を「子どもの権利」とすると、一般の人にはとっつきにくいのでは。今のネーミングの方が、子どもも応援されていることが分かると思う。</p> <p>○権利も大切だが、メッセージ性も大事。この会での結論としては、子どもの未来応援条例という仮称のとおりで良いと思う。</p> <p>○パブコメについて、大人と同じものが子どもに送られてくるのか。ハッキリ言って、中学生でも書けない。この内容であれば、一時間しっかり時間を取って説明をしてあげないと、実際に子どもが意見を書くのは厳しい。</p> <p>○意見をもらうことが目的なのか、知ってもらうことが目的なのかにもよるのではないか。</p> <p>○我々大人がこういうことを考えているという事を、子どもが知ることも大事なので、周知が大事だと思う。その中で、興味を持った子どもがいれば、書くと思う。</p> <p>○パブコメに書く、書かないはあると思うが、立ち位置というか、どこに意見を求めたのかというスタンスが大事だと思う。</p> <p>○障害者に配慮した対応をしてほしい。</p>		